

ロジスティクス環境会議  
第3回リバースロジスティクス調査委員会

2004年4月27日(火)15:00～17:00  
芝パークホテル 本館3F 牡丹

次 第

1. 開 会
2. リバースロジスティクス調査委員会の活動計画について
3. 分科会・勉強会・見学会等に関するアンケート結果の報告
4. 議 事
  - 1) 委員会・分科会・勉強会の運営と進め方について
  - 2) 分科会(グループ)の構成について
  - 3) その他
5. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : リバースロジスティクス調査委員会の活動計画  
資料2 : 分科会および勉強会・見学会に関するアンケート集計結果の報告  
資料3 : 委員会・分科会・勉強会の運営と進め方(案)  
資料4 : 分科会(グループ)構成(案)  
参考資料1 : 分科会(調査)活動の進め方(例)  
参考資料2 : 第2回委員会議事録  
参考資料3 : ロジスティクス環境会議 組織構成図

以 上

## リバースロジスティクス調査委員会の活動計画

### 1. 活動方針

- 1) ロジスティクスの視点から、今後本格的に必要とされるリユース、リサイクルに関わる物流のあるべき姿を描くために調査活動を行い、その結果を公開する。
- 2) 消費者における還流管理の促進を含め、リバースロジスティクスの構築が可能となる環境整備を促進するためのガイドラインをまとめ、関係者に対して提言を行う。

### 2. 活動内容

#### 1) 調査報告書の作成

調査方針、内容等の検討

特殊な工場廃棄物や化学系廃棄物等は対象外とし、以下のような当委員会の参加メンバーが多く属する業種を切り口に調査を行うことを検討する。

(1)家電、PC、OA 機器 (2)自動車 (3)建設資材 (4)食品 (5)その他

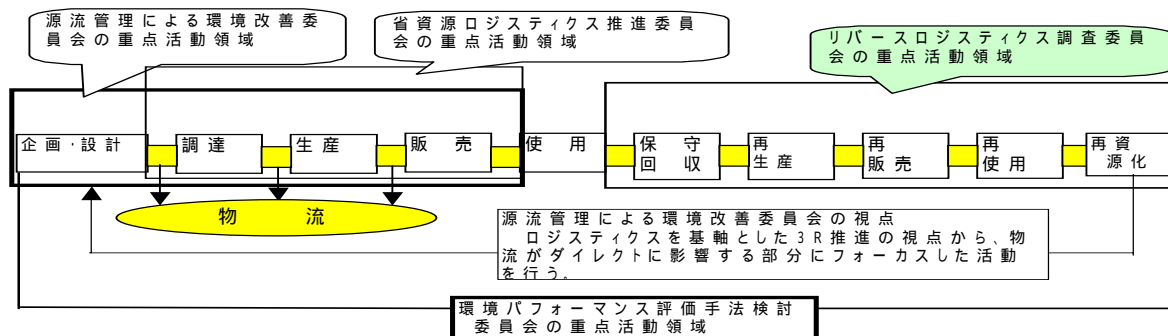
#### 2) ガイドラインの作成

複数企業間、業界、さらに社会システムとして包装材等のリユース、リサイクルを促進するための指針

#### 3) 提言の作成

#### 4) メンバー各社の環境報告書による事例研究等の勉強会やメンバー各社、自治体活動の現場見学会の実施

【図1 重点活動領域と調査対象範囲のイメージ】



### 3. アウトプット(成果)

- 1) 調査報告書・・・2005年 3月
  - 2) ガイドライン・・・2005年10月
  - 3) 提言・・・2005年12月
- (1)対行政 (2)対産業界 (3)対消費者 (4)その他

#### 4 . ステップ

##### 1 ) 調査報告書

- (1)調査方針、内容の検討
- (2)調査報告書の作成

##### 2 ) ガイドライン

複数企業間、業界、さらに社会システムとして包装材等のリユース、リサイクルを促進するための指針

- (1)ガイドラインの作成方針の検討
- (2)調査内容等に基づく、ガイドラインの作成

##### 3 ) 提言

- (1) 提言の作成方針の検討
- (2) 報告書、ガイドラインに基づく提言の作成

還流管理：消費者が購入、使用したモノが適切に分別処理等が行われ、円滑なリバースチェーンの起点となるように、企業が責任をもって製品や荷姿の設計、物流プロセスを構築すること。

以 上

## 分科会および勉強会・見学会に関するアンケート集計結果の報告

分科会および勉強会・見学会に関するアンケートを行った結果、以下のような集計結果となった。

### 1. 集計結果の概要

- 1) 有効回答数 35件(40件中) 2004.4.26 現在
- 2) 有効回答率 87.5%
- 3) 保留など 5件

### 2. 分科会に関する回答結果

#### 1) 分科会(グループ)の構成について

設 問	回答数
(1)原案が良い	33 (94.2%)
(2) 分科会(グループ)を追加して欲しい	1 (2.9%)
(3)その他	1 (2.9%)
合 計	35

#### 【その他意見】

- ・グループが多いので少し絞った方が良いように思います。
- ・中古品のマーケット、流通がどのようになっているかについて実態調査が必要だと思います。  
例えば、家電、建設、自動車など法的に義務付けられたリサイクルシステムでは、再生・再利用の流通が機能しているのか否か、についてです。同様に、法的規制はなく自主的なリサイクルビジネス~OA 事務機、リサイクル産業(テンポスバスターズ、コメ兵、ブックオフなど)は中古品・再生品が「価値あるもの」として流通しているわけですから、このようなリサイクルシステムと、家電・建設などのリサイクルシステムとの比較を行うことによって、課題があきらかになってくるのではないかと思います。

## 2) 参加を希望する分科会(グループ)について

分科会(グループ)	検討事例(例示)	回答数 下段( ): 複数登録
1) 家電グループ	家電4品目(TV、冷蔵庫、洗濯機、エアコン) その他機器(電子レンジ・VTR等)	4(11.4%) (1)
2) OA情報・ 通信機器グループ	OA機器(複写機・プリンター・FAX等) PC機器(業務用・家庭用) その他機器(トナーカートリッジ等)	7(20.0%) (1)
3) 自動車グループ	乗用車 トラック その他自動車用消耗品 (タイヤ・バッテリー・エアフィルター・オイル等)	3(8.6%) (3)
4) 食品グループ	容器包装 (ガラス・ペットボトル・紙製容器・プラスチック・缶等) 食品廃棄物(製造段階:産業廃棄物) 食品廃棄物(流通消費段階:一般廃棄物、調理クズ・廃油等) 食品用機械(自動販売機、業務用冷蔵庫、サーバー等)	6(17.2%) (1)
5) 建設グループ	ビル建設 戸建住宅 その他建設副産物(コンクリート、アスファルト、鉄資材、木材、廃土等)	4(11.4%) (0)
6) 物流グループ	廃棄パレット 物流センター等での処理問題 その他包装資材廃棄物 同上の処理問題 (ダンボール・エアキャップ・ストレッチフィルム・発泡スチロール・PPバンド等) リサイクル(リターナブル用)マテハンツール (輸配送用折コン・P箱・エコラック、引越用口包装等)	9(25.7%) (2)
7) その他	ガス・石油機器 家具類 産業機械 衣料(ユニフォーム・スーツ等) 鉄鋼	2(5.7%) (0)
	合計	35

## 3. 勉強会で聞いてみたい事例、テーマ等について

### 1) 通い箱の事例

2) 関連業界団体の取組み - 個別企業で取組むのか? 業界標準で歩調で合わせるのか?

3) ゼロエミッション(物流関係)

4) 処理業者(ex: 有明興業ほか、中間・最終処分業者の現状等々)

5) リターナブル梱包の実例等

6) リバースロジ分野でのモーダルシフトの事例、川崎や北九州のエコタウンへのリバースロジ

7) グリーン調達の実例等

8) リサイクル事業の実態、各社のリサイクルへの取り組み方など

9) 切り口としては家電・建設・自動車などの規制された産業と、OA事務機、中古品ビジネスのように規制されていない自主的なビジネスとの両方をお聞きしたい。それとメーカー、流通、物流事業者、廃棄物処理業者というように、異なる立場からの取り組み、ご意見を伺ってみたい・・・立場が異なれば、同じシステムに対するものの見方も異なると思います。そこに課題が潜んでいるものと思います。

10) 廃棄品の輸送・保管・分解廃棄の方法論と共同化

11) 製品(部品)に含まれる有害物質に関する情報の収集方法

12) 家電の指定品目以外への取組み・処理現場

- 13) 今回、家電量販店で産業廃棄物の違法な処理が問題になっていたが、現実の現場はどのようなになっているのか？法律と実態について知りたい。
- 14) 物流上の廃棄物削減において目標をどのように数値化するか
- 15) 排出事業者としての現状の問題点

#### 4. 見学会として行きたい見学先について

- 1) 川崎や北九州のエコタウンへ  
北九州エコタウン(5件)
- 2) トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業など
- 3) 処理業者(ex:有明興業ほか、中間・最終処分業者の現状等々)の関連先(2件)
- 4) 北九州市等の自治体の取り組み、環境を追求した物流センターなど
- 5) リバースロジ分野でのモーダルシフトの事例
- 6) リサイクルマテハンツールをうまく使用し効果を上げている所
- 7) 西日本家電リサイクルセンター、リサイクル実施場所
- 8) 家電系の中間処理場など
- 9) 廃棄物処理現場

以上

委員会・分科会・勉強会の運営と進め方(案)

1. リバースロジスティクス調査委員会(全体委員会)活動・・・開催頻度1回/2ヶ月

14:00～15:00	【勉強会】 先進各社&自治体の取組み事例研究(メンバー、その他外部講師)
15:00～17:00	【全体委員会】 分科会(グループ)の検討状況説明、及び意見交換
17:00～17:30	全体サマリーと次回予定
(17:30～)	(第2部:懇親会 自由参加ですが是非ご参加ください)

2. 分科会(グループ)活動・・・開催頻度1回/月(集合方式、又はeミーティング方式)  
業種(製品)別に複数グループ編成を行い、リバースロジスティクスの視点から、将来のあるべき循環型ビジネスモデルと、その実現課題の抽出と解決策について検討を行う。

- 1) 現状実態の把握
- 2) あるべきリバースロジスティクスのビジネスモデルの考察  
動脈物流も意識する
- 3) 課題の抽出(製品面・情報面・3R物流面・法規制面・市場面等)
- 4) 解決策の考察  
ビジネスモデル概要の記述(含前提条件)
- 5) 法規制への改善要望、リサイクル製品(商品)への社会支援の要望等

3. 見学会活動・・・3回程度/年 希望者を募って実施

【2004年度委員会、分科会開催予定表】

	2004年										2005年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. リバースロジスティクス調査委員会	第3回 4/27(火)	第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回	
2. 勉強会		第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回	
3. 分科会(グループ)													
1) 分科会1			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
2) 分科会2			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
3) 分科会3			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
4) 分科会4			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
4. 見学会			第1回(関東近郊)			第2回(北九州)				第3回(関東近郊)			
			6/下旬			10/下旬～11/月上旬				2/月上旬			

以上

分科会（グループ）構成（案）

分科会（グループ）	検討事例（例示）
1）家電グループ	家電4品目（TV、冷蔵庫、洗濯機、エアコン） その他機器（電子レンジ・VTR等）
2）OA情報・ 通信機器グループ	OA機器（複写機・プリンター・FAX等） PC機器（業務用・家庭用） その他機器（トナーカートリッジ等）
3）自動車グループ	乗用車 トラック その他自動車用消耗品 （タイヤ・バッテリー・エアフィルター・オイル等）
4）食品グループ	容器包装 （ガラス・ペットボトル・紙製容器・プラスチック・缶等） 食品廃棄物（製造段階：産業廃棄物） 食品廃棄物（流通消費段階：一般廃棄物、調理クズ・廃油等） 食品用機械（自動販売機、業務用冷蔵庫、サーバー等）
5）建設グループ	ビル建設 戸建住宅 その他建設副産物（コンクリート、アスファルト、鉄資材、木材、廃土等）
6）物流グループ	廃棄パレット 物流センター等での処理問題 その他包装資材廃棄物 同上の処理問題 （ダンボール・エアキャップ・ストレッチフィルム・発泡スチロール・PPバンド等） リサイクル（リターナブル用）マテハンツール （輸配送用折コン・P箱・トラック、引越用口包装等）
7）その他	ガス・石油機器 家具類 産業機械 衣料（ユニフォーム・スーツ等） 鉄鋼

留意1．特殊な廃棄物、例えば 工場（化学系・放射性）廃棄物、社会（医療用・水銀系・汚染土壌等）廃棄物は対象外とする。

留意2．過去2回の委員会における提案事例（ブックオフ・テンボスバスター等）や、入手環境報告書の好事例研究、更に参加メンバー業種における好事例（例 家電・OA・食品・鋳物砂等）については、積極的に勉強会テーマアップしていく。

以上



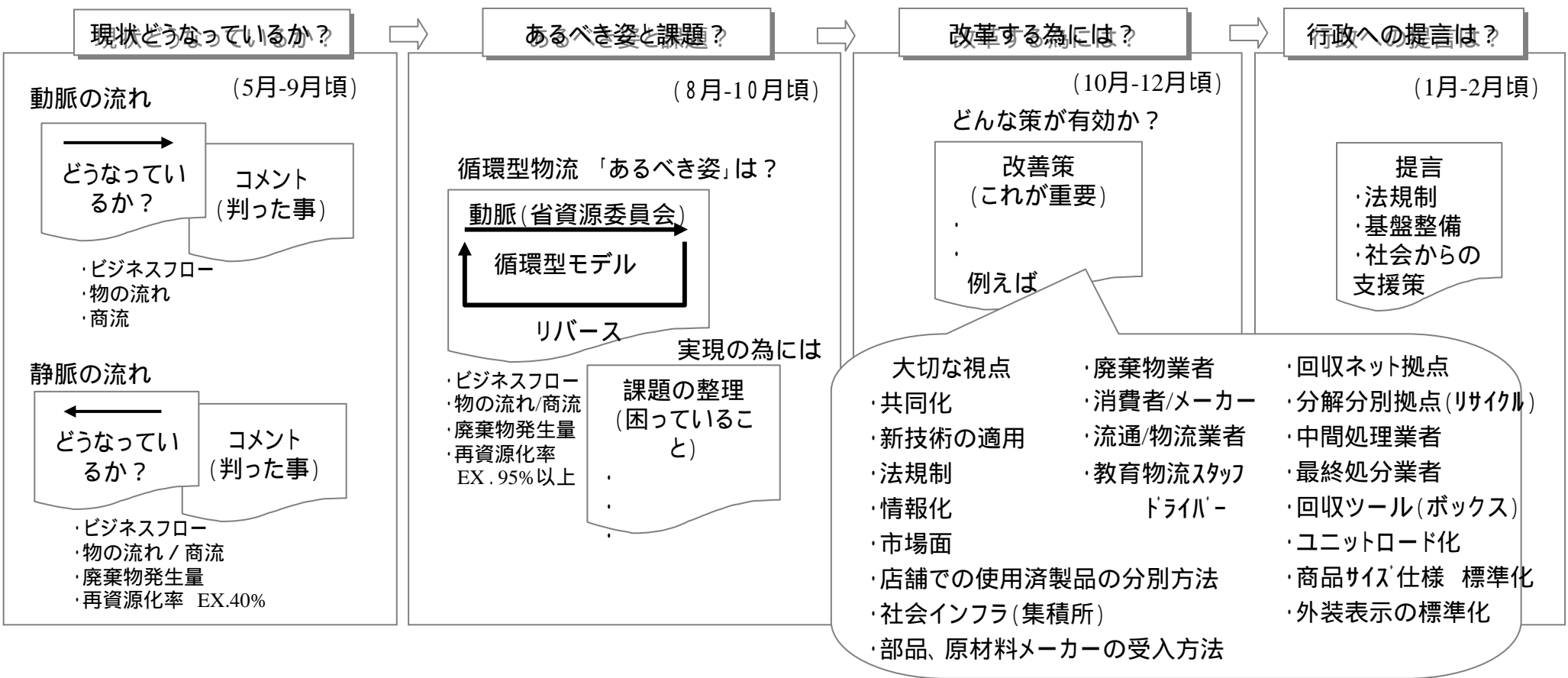


# 分科会(調査)活動の進め方(例)

対象品目 分科会メンバーで選定

例 家電 ・既存4品目(リバース開始済) …視点 スタートしたがまだ非効率であり、改善余地有り テーマ選定しても良い  
 ・未実施品目(これから始まる) …視点 4品目と同じようにスタートする為には、何が前提となるか？どんな注意が必要か？  
 VTR,オーディオ、電子レンジ等 どのような条件・環境を整備すれば良いか？

## 進め方



## ロジスティクス環境会議

### 第 2 回リバースロジスティクス調査委員会 議事録

・ 日 時：2004年3月5日(金) 15:00～17:00

・ 場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館2F 桜

・ 出席者：35名

・ 議 案：

- 1) リバースロジスティクス調査委員会の活動内容について
- 2) その他

・ 開 会

定刻、菅田委員長により、開会が宣された。

・ 第 1 回委員会議事録の確認【資料 1】

事務局より、資料 1 に基づき、第 1 回委員会の議事経過の報告がなされ、第 1 回委員会の議事録の確認がされた。

・ 問題抽出アンケート 2 次集計結果の概要【資料 2 - 1、2 - 2】

事務局より、資料 2 - 1 に基づき、1 件の回答が複数の委員会の検討課題(テーマ)として扱われることが望ましい場合も考えられるため、これに対応した 2 次集計を行った結果、第 1 次集計 16 件(95 件中)から第 2 次集計では 38 件なり、22 件加算された旨の概要が報告された。

・ 議事の経過

1. 議 事

菅田委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) リバースロジスティクス推進委員会の活動内容について【資料 3、資料 4】

事務局より、第 1 回委員会において正副委員長提案としてまとめられた内容である資料 3 に基づき、概要の確認が行われた後、資料 4 に基づき、問題抽出アンケートならびに第 1 回委員会の意見を主体別(企業、業界等)に課題(サプライチェーン、情報、リバースチェーン、廃棄物処理、法規制、新規産業等)を整理した内容の説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

- 【委員】リバース・ロジスティクス活動の現状調査を実施し、参考になるモデル事例の抽出、洗い出された問題点から対策立案の検討等を通じて、行政に対する提言に結び付けていくべきではないか。
- 【委員】リバース・ロジスティクスの意味が曖昧である。リバース・ロジスティクスをもう少し具体的で踏みこんだ名称にした方が良いのではないか。また、使用済商品を滞留させる事なく早く戻す等、最適な仕組みを目指していくべきだ。
- 【委員】新品の物流は計画的に行うことができるが、回収物流は貨物量が読めないことや、新品用トラックと回収用トラックが免許（法規制）の関係で共用出来なかつたりする等の理由から、費用対効果で合わない場合も多く、共同化も難しい。行政に対して、使用済み製品でも有価物に該当する製品もあることを啓発、普及することも必要ではないか。
- 【委員】消費財のダンボール回収に困っている。ダンボールレスのリターン可能な通い箱のようなモノを作れないか？宅配便でのダンボールを無くす手だても考えたい。
- 【委員】廃棄物を回収する時に、重量・サイズ等の情報を一元化（1社のみでなく業界として）DB化出来れば有益である。荷主企業だけでなく、物流企業サイドからも発信していくべきではないか。
- 【委員】全国的に回収物流を実施しようとすると、多数の自治体への届けや廃棄業者と契約締結が必要となる。届け出を各該当の自治体から広域で一ヶ所と済むように簡素化して欲しい。
- 【委員】リバース・ロジスティクス概念ははっきりしていない。現実に行われている中から問題点抽出して議論していくのが良い（地に足ついた議論が必要。例えば、4業種の法定枠組みに沿って、非効率性等を検討）。ブックオフサービスやテンポスバスター等、身近なところでケーススタディーを行っても良いのではないか。
- 【委員】数年前から家電・PC等、回収物流を始めているが、規制が厳密であるため、リユース製品しか運べない。効率化を図るため、リサイクルの場合も運べるように規制の緩和を行って欲しい。
- 【委員】昨年（廃棄物の）広域免許取得したが、自治体から許可を取得することに大変苦労した。国に対しても許認可の制度を簡素化するように働き掛けることができる仕組みが必要ではないか。運搬物の簿価が有る時は有価物とし、トラックの使い方にも色々制約有るため効率が悪くなってしまう。共同化の仕組みや環境特区等、具体的なケースをつくり、提案していくべきではないか。
- 【委員】廃棄物処理法は、不法投棄を無くすことに注力したため、多数の規制をつくった。リバース・ロジスティクスの理想的なデザインを考え、そこから法律で何処をどうやったら良いかの、合理的なのかを検討し、提案しても良いのではないか。廃棄物法は臭いものを対象にしたもので、産廃は迷惑施設ととらえられている。迷惑物の概念を変えて、法律を考えないで本来どうしたいかとの視点でビジネスモデルの提案をしていきたい。
- 【委員】昨年末、廃棄物処理法の改正により見直しが行われ、広域再生利用認定制度等が取得しやすくなった。メーカーが販売したものを回収する際、（物流企業として）当制度を上手く利用するよう提案し、静脈物流の仕組み作りには貢献していくべきではないか。
- 【委員】廃棄物処理法は不法投棄防止のため、過度な側面をもった法律であるため、産業界としてはリバースの仕組みをつくらうとした際の経営リスクが大きい状況にある。リサイクル可能で循環型の製品は（最終処分行きとは区別し）、可能な限り緩やかな規制で運営をさせて欲しい。

以上のような意見交換が行われた後、菅田委員長より、以下のような確認がなされた。

- ・基本的な活動概要（計画）については、資料3の内容で進める。
- ・具体的な議論を行うため、今後は分科会等のグループをいくつか形成したい。分科会をつくるにあたって業種等の切り口で絞込みを行う。

## 2) その他

### (1) 今後のスケジュールについて

第2回委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年4月27日（火）15：00～17：00

会場：芝パークホテル 本館3F 牡丹

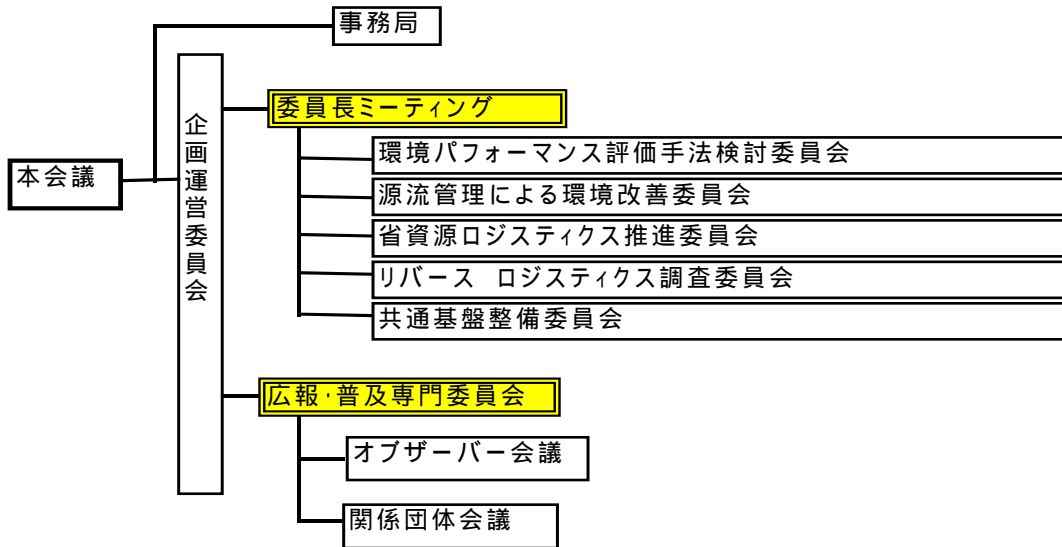
## 2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、菅田委員長は閉会を宣した。

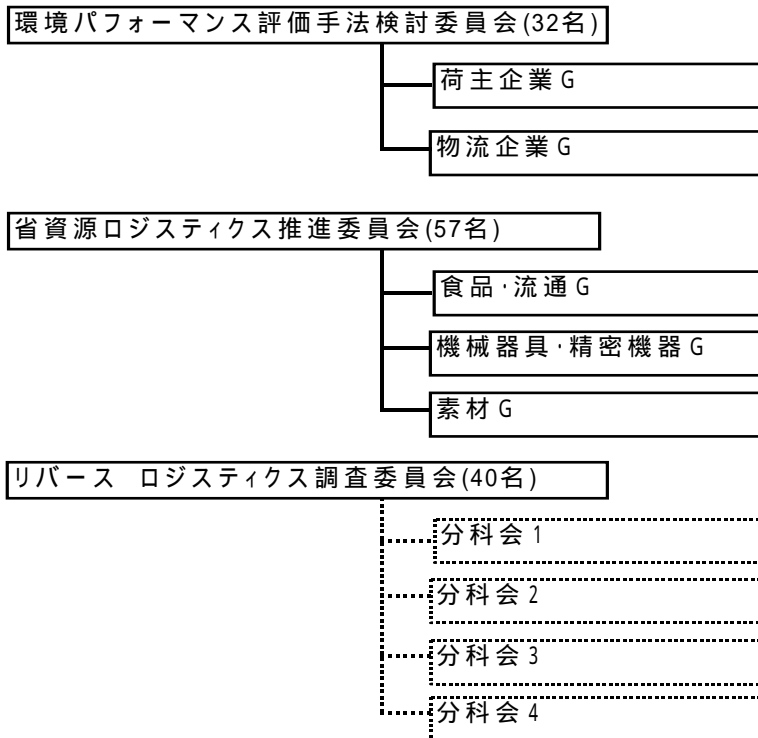
以上

ロジスティクス環境会議 組織構成図

【ロジスティクス環境会議 組織構成図】



【分科会設置予定委員会】



以